

ヒトの視床下部神経核に発現するマーカー分子の探索

実施許可日：2023年8月23日

研究協力をお願い

当教室では「ヒトの視床下部神経核に発現するマーカー分子の探索」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただくわずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

この研究は、2021年4月1日より実施許可日までに、献体後、ご遺体を医学研究に使用することについて、本人及びご遺族が同意された方。

2. 研究の目的

基礎研究で得られた知見を医療の現場でヒトに応用するためには、実験動物で得られた研究結果がヒトに対しても当てはまるのか否かを調べるための橋渡しとなる研究が必要不可欠です。そのためには、ヒトと実験動物の体の構造にどのような違いがあるのかを詳細に理解する必要があります。そこで、本研究では肉眼解剖実習で御献体が医学生の学習に供された後に、御献体の残った脳の一部を用いて、ヒトの脳の組織構造を調べることで、これまで実験動物で得られた脳の組織構造の知見と同一であるか、異なるかを解析することを目的とします。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野で実施する研究で、研究責任者は日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野 石井寛高、研究事務局は日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野 森下雅大です。

2021年4月1日より実施許可日までに日本医科大学解剖学教室で肉眼解剖実習に供されたご遺体から得られた試料を染色し、脳の微細構造や脳内に発現する様々な分子の分布を顕微鏡下で解析し、動物で得られているデータと比較します。

研究実施期間は、実施許可日から2027年5月31日までです。

本研究実施により、肉眼解剖実習における医学生の学びが損なわれることはありません。

本研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、御献体の以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：脳の一部

情報：年齢、性別、既往歴、死因等

利用開始日：実施許可日

試料・情報の取得の方法：肉眼解剖実習の過程で取得

この研究に関するデータは、容易に個人を特定できないような形式に記号化した番号により管理されます。記号化の際の管理表は、日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野の森下雅大（試料・情報の管理者）が献体管理室のインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータに保管し、御献体本人様及びご遺族様の個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。なお、この研究で得られた検体・データは、研究終了後にはすべて適切な方法で火葬・廃棄いたします。その際も、個人が特定されないことがないよう十分に配慮いたします。

また、ご遺族様から、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄します。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の御献体者様及びご遺族様の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、ご遺族様にご了承いただけない場合には研究の対象と致しませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも御献体本人様及びご遺族様に不利益が生じることはありません。

日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野 森下 雅大

〒113-8602 東京都文京区根津 1-25-16

TEL：03-3822-2131（代表） 内線：5320

メールアドレス：m-masahiro+optout@nms.ac.jp